

## 東村山市公共施設等総合管理計画（案）に関する意見募集の概要

1 案件名		東村山市公共施設等総合管理計画（案）	
2 担当所管	(1) 名称	東村山市経営政策部施設再生推進課	
	(2) 所在地	〒189-8501 東村山市本町 1-2-3	
	(3) 電話番号	042-393-5111（内線 2252・2253）	
3 概要	(1) 意見募集期間	平成 28 年 4 月 8 日（金）～4 月 27 日（水）	
	(2) 設置場所	情報コーナー（本庁舎 1 階）、いきいきプラザ 1 階総合窓口、サンパルネ内「地域サービス窓口」（ワズタワー 2 階）、各公民館・図書館、ふるさと歴史館、スポーツセンター、各ふれあいセンター、青葉地域センター、美住リサイクルショップ、社会福祉センター、地域福祉センター	
	(3) 周知方法	東村山市ホームページ・市報ひがしむらやま平成 28 年 4 月 1 日号	
4 意見集計	応募等延べ人数		項目別意見数
	2 人		3 件
	意見内訳		人数内訳
	各施設での提出		0 人
	FAX による提出		1 人
	ホームページからの提出		1 人
	合計		2 人
	無効		-

※お寄せいただいたご意見は、テーマ別に分類し掲載しています。なお、明らかな誤字・脱字等の修正等を除き、原文のまま掲載しています。

NO.	分類	ご意見	市の考え方
1	インフラ編基本方針2	<p>公共インフラ部分の全体について意見を述べさせていただきます。市の所管の道路、橋梁、公園、下水道について維持修理費が年平均 1.8 億円掛かる計算になっていますが、この数値の算出方法によって将来の市所管の公共インフラのあり方が問われると思います。インフラの新規投資などはいろいろな方策（ex. PPP、PFI など）も考えられますが、維持修理となれば現状の施設、構造物の老朽化対策、補修維持など、日進月歩の技術革新が大きい修理・補修技術とリンクした考え方をとり、かつ廉価で継続性の長い技術導入をする必要があります。例えば、道路と下水道のインフラは下水道補修には道路をいじり、道路の老朽化は下水道インフラに負荷を与えることとなります。縦割り行政で補修工事を行うのではなく、道路と下水道が一体となって、新たな補修技術を取り入れながら補修を行うことで長期耐用インフラの建設やトータルに経費節減にもなると考えられます。そういう文言を維持管理の方向性に入れておかれるのがいいと感じました。</p>	<p>本市のインフラ施設の将来の更新にかかる費用の推計方法については、管理計画（案）の 108 ページに示したとおり、財団法人自治総合センターの考え方をもとに試算しています。今後の維持管理、修繕、更新等につきましては、ご指摘いただいているとおり、社会動向等を踏まえて、新技術による工法を用いた対策の実施や、道路や下水道といった分野にとらわれずに検討を進めていく必要があると認識しております。そのため、インフラ施設の維持管理の方向性は、民間のノウハウを広く活用し、包括管理委託や指定管理制度等の手法により、効率的な維持管理業務を検討していくこととしています。また、道路（舗装）の維持管理の方向性で、道路と下水道の一体化補修につきましては、施工の際には、上下水道の工事時期等を勘案し検討していくこととしています。上記の検討をしていく際には、管理計画（案）の 118 ページから 120 ページでお示した数々の先進市の事例や手法を視野に入れて取り組んでまいりたいと考えております。</p>
2	ハコモノ編基本方針3	<p>熊本地震では、数年前に耐震工事を終えていたのにと益城町の職員は言っていました。鉄筋コンクリート造り 3 F 建ての町役場は外付けフレームで補強していた。14 日の震度 7 には耐えたが、16 日の本震で亀裂が入り、倒壊の恐れか立ち入り不可となった。</p> <p>熊本市でも、避難所となっている小中学校 24 校の体育館も筋交いが破断し、使用禁止になった。このように、耐震工事をした役場や避難所が使えない状態になったことは大きな不安です。耐震基準は最低限の基準であり、免震や制震など被害軽減のための対策が必要と専門家が言っています。</p> <p>想定被害の内容や、防災計画と対策の実行状況などを市民に広く知らされるようにしてほしい。</p>	<p>公共施設には災害時の避難所としての機能を担っているものもあることから、災害時を想定した施設の安全・安心の確保は重要な課題であると考えております。市役所本庁舎につきましては、平成 28 年度より耐震化工事に着手する予定です。また、管理計画（案）の P124 に示したとおり、下水道等の埋設している管きょにつきましても、避難所に通じる管きょ等緊急度の高い施設から耐震化を進めることとしています。</p> <p>避難所として指定されているすべての小学校・中学校では耐震化が完了しております。</p>

NO.	分類	ご意見	市の考え方
3	ハコモノ編基本方針4	道路よりも公共施設がいかに大事かということが認識されたと思う。タテ割りの考え方を変え、空教室を多機能に使う、長くつかうよう見直す。施設の最大限利用を。職員の人数も大事と思う。正職員の配置は大事。災害時等何よりも地域のことがわかっている正職員が必要と思う。	<p>本計画の学校施設の再生の方向性としては、防災面から避難所に指定されているとともに、地域コミュニティの核としての役割をもつことから、生徒数の減少に合わせて、余裕スペースの有効活用や施設規模の見直しを検討していくこととしています。</p> <p>道路につきましても、管理計画（案）の121ページでお示したとおり、適切な維持管理を実施していくとしております。</p>